2026年11月9日

各　　位

会 社 名　フマキラー株式会社
代表者名　代表取締役社長　　大下　一明
（コード番号 4998　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役管理本部長　　郷原　和哉
TEL.（0829）　55－2112

2027年３月期第２四半期(中間期)、通期業績の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表しました2027年３月期第２四半期(中間期)(2026年４月１日～2026年９月30日)、2027年３月期(2026年４月１日～2027年３月31日)の業績について下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．第２四半期(中間期)業績予想の修正

2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前　回　発　表　予　想（A）	45,400	1,910	1,830	920	55.86
今　回　修　正　予　想（B）	44,325	1,985	1,751	1,961	119.01
増　　減　　額（B－A）	△1,074	75	△78	1,041	－
増　　減　　率（%）	△2.4	3.9	△4.3	113.2	－
（ご参考）前期中間実績（2026年３月期中間期）	40,142	2,120	2,127	1,326	80.47

2027年３月期第２四半期(中間期)個別業績予想数値の修正(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売　上　高	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前　回　発　表　予　想（A）	14,200	1,100	800	48.55
今　回　修　正　予　想（B）	13,784	930	1,887	114.54
増　　減　　額（B－A）	△415	△169	1,087	－
増　　減　　率（%）	△2.9	△15.4	135.9	－
（ご参考）前期中間実績（2026年３月期中間期）	13,597	970	767	46.59

２．修正の理由

（連結業績）

連結売上高につきましては、個別売上高が計画に対して未達となり、一部海外子会社において現地通貨ベースで計画を下回ったことから、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みです。

利益面では、個別業績における円安の進行による仕入コストの増加や、各国で広告費・販売推進費への積極的な投資を行った一方で、それ以外の経費を効率よくコントロールした結果、営業利益、経常利益は前回発表予想並みの見込みです。親会社株主に帰属する中間純利益は、個別で特別利益が発生したことから前回発表予想を上回る見込みです。

（個別業績）

個別業績につきましては、主力の殺虫剤が６月以降の天候不順の影響を受け市場にブレーキがかかったことに加え、園芸用品においても同様の天候要因や競争環境が激化したことから、売上高は計画未達となる見込みです。

利益面では中東情勢を発端とした原材料価格の上昇と円安が進んだことで仕入コストが増加し、原価率が悪化したことから経常利益は前回発表予想を下回る見込みです。一方で、投資有価証券の売却に伴う特別利益が発生したことから、中間純利益は前回発表予想を大幅に上回る見込みです。

３．通期業績予想の修正

2027 年３月期通期連結業績予想数値の修正(2026 年４月１日～2027 年３月 31 日)

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前　回　発　表　予　想（A）	84,800	2,950	2,810	1,630	98.91
今　回　修　正　予　想（B）	81,000	1,900	1,850	2,100	127.43
増　　減　　額（B－A）	△3,800	△1,050	△960	470	－
増　　減　　率（%）	△4.5	△35.6	△34.2	28.8	－
（ご参考）前期通期実績（2026 年３月期通期）	77,366	2,190	2,262	1,206	73.24

2027 年３月期通期個別業績予想数値の修正(2026 年４月１日～2027 年３月 31 日)

	売　上　高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前　回　発　表　予　想（A）	25,800	1,200	1,030	62.50
今　回　修　正　予　想（B）	25,200	300	1,640	99.52
増　　減　　額（B－A）	△600	△900	610	－
増　　減　　率（%）	△2.3	△75.0	59.2	－
（ご参考）前期通期実績（2026 年３月期通期）	24,055	1,109	888	53.94

４．修正の理由

（連結業績）

連結売上高につきましては、個別売上高が計画に対して未達となることに加えて、主要な海外子会社は現地通貨ベースでは計画を上回るものの、前回発表時に対し為替レートを円高に見直したことによる影響から、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みです。

利益面では、個別の売上原価が増加したことにより連結全体の原価率が上昇することに加えて、為替影響により売上総利益が減少する見込みです。その結果、営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は個別の特別利益の影響から前回発表予想を上回る見込みです。

（個別業績）

個別業績につきましては、上期における売上高の計画未達の影響が残ることから前回発表予想を下回る見込みです。

利益面では、売上減に伴う売上総利益の減少に加えて、中東情勢による原材料価格の上昇の影響から原価率が悪化することから、経常利益は前回発表予想を下回る見込みです。一方で上期に発生した特別利益の影響から当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

※　上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済・事業環境の変動等の事業リスクや不確定要因により、予想数字と異なる場合があります。

以　　上